

クラシック・ライター 片桐卓也さん



「辻井伸行 日本ツアー 《ショパン・リサイタル》」

今、日本で一番人気のあるピアニストといえば“盲目のピアニスト”こと、辻井伸行さんでしょう。

彼は1988年生まれ。2009年にアメリカの大きなコンクールであるヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで優勝して世界的な評価を得ました。

彼の素晴らしいところは非常に素直な音楽性、そしてピアノの音色がとても美しいところです。

今回のツアーはショパンの作品だけで構成されたプログラムで、このショパンの作品と彼のピアノの音色の美しさはよくマッチすると思います。

ぜひ、生演奏を聞いてみてください。



サントリーホール

「辻井伸行 日本ツアー 《ショパン・リサイタル》」は、アークヒルズの「サントリーホール」にて上演されます。

(2016.03.22)

盲目のピアニスト 辻井伸行が奏でるショパン、東京での公演は2回

辻井伸行はヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール優勝以降、世界各国でショパンを演奏し、「輝かしい響きと類いまれなるテクニックが、極上のショパンの音楽にもっとも相応しい」と世界の評論家から評されるほどの名手です。そんなショパンの名作だけを演奏するコンサートツアーがついに開催されます。

今回のツアーでは、前半は3つのワルツに続いて《別れの曲》《黒鍵》《革命》を含む12のエチュード。後半は数多いショパンの名作の中でも高いヴィルトウオージティ（技巧性）と優雅なメロディから特に人気の高いバラード全曲を披露します。東京での公演は2公演のみです。お聴き逃しなく。

開催概要

- 期間（全2公演）：2016年3月28日（月）14:00開演、30日（水）19:00開演
- 場所：サントリーホール 大ホール（アークヒルズ）
- 入場料：S席 ¥6,800、A席 ¥5,800、B席 ¥4,800
- ▶ 辻井伸行 日本ツアー 《ショパン・リサイタル》

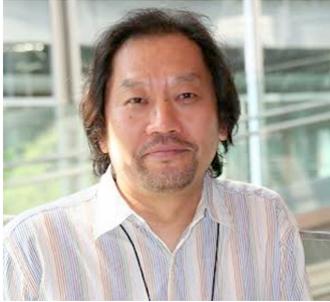
辻井伸行：ピアニスト

1988年生まれ。2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝。2011年11月にはカーネギーホールの招聘でリサイタル、2012年にはアシュケナーズの指揮でロンドン・デビュー、ゲルギエフの指揮でサンクトペテルブルクにデビュー。2013年にはイギリス最大の音楽祭『BBCプロムス』に出演し「歴史的成功」と称賛される

等、世界で活躍している。

今年、国内のオルフェウス室内管弦楽団との『庄巻のベートーヴェン』を始め、ロンドンやシドニーなど世界各地でのコンサートが予定されている。日本では2度の日本ゴールドディスク大賞や文化庁長官表彰（国際芸術部門）、日本シヨパン協会賞等も受賞している。

プロフィール



フリーの編集者を経て、1990年からクラシック音楽中心のライターとして活動を始める。現在はクラシック音楽専門誌に定期的にインタビュー、批評などを執筆。その他、クラシック音楽の講座、コンサートのプレトークを担当することもある。ミュンヘン国際音楽コンクールなど、世界的なコンクールの現地取材も経験。最も関心のあるジャンルは17～18世紀のオペラで、その上演を観るために、海外へ出かけている。